

# 宿泊行事の検討

## ——志賀高原から那須へ——

平成14年度 宿泊行事検討委員会

栗原恵美子・宮本 乙女・佐々木善子・前川 哲也

### ○はじめに

本校での宿泊行事は、昭和63年度の検討(修学旅行検討委員会：大野木，酒井，佐々木和，田中，吹貝，宮本)を受けて平成元年度より14年間，志賀高原移動教室(第2学年)と岩手修学旅行(第3学年)の2本立てで実施されてきた。それ以前は，修学旅行を中京方面で実施していた。

しかし，学校週5日制が平成14年度から完全実施されるのを受けて，平成12年度行事検討委員会(佐々木善，秋山，関根，渡辺，前川)と翌平成13年度新教育課程検討委員会(秋山，宮本，渡辺，佐々木善，前川)において，行事全体を見直す検討を行った。特に平成12年度では，行事検討委員会より，従来2本立てで実施してきた宿泊行事(第2学年での移動教室と第3学年での修学旅行)を「3年間で1回，第2学年で行う。これは学校行事とする。第1・3学年は，総合学習と関連させた校外学習(宿泊はともなわない)を学年裁量で行うことができる」という削減案が提案され，了承された。

生徒にとっても非常に楽しみな修学旅行をなぜ無くさなければいけなかったのか。それは，第3学年1学期の荷重な負担を解消する必要があったからである。5月に実施される修学旅行にむけて，第2学年の3学期から準備をスタートする必要がある。第3学年の4月からは本格的に活動するようになる。しかしこれらの時期は，第2学年の総合学習のまとめ，新年度の生徒会活動始動，体育大会や生徒祭の準備などと重なる。とりわけ，修学旅行の直後には体育大会がひかえている。体育大会では，第3学年が第1・2学年をリードして自治的集団を育てていかななくてはならない。3年生は，修学旅行の準備と並行しながら1・2年生の体育大会種目を指導しなければならず，特に修学旅行総務の生徒は，休日登校も余儀なくされたというのが実情であった。本校の学校教育目標である「自主・自律」のもと，生徒達自身の力で学ばせるには十分な時間を確保しておくことが必要である。週5日制の中でそれを実現させるために，ほぼ同時期にある行事の精選を迫られ，修学旅行を無くすに至ったのである。

### 宿泊行事の目的

(平成13年度末教官会議で配布された新教育課程検討委員会からのプリントより抜粋)

- ① 一人ひとりが自然を親しみ，自然を愛する心を学ぶ。(自然愛護)
- ② 各教科の観点から，学校内では体験できないことを学ぶ。(総合的な学習の視点)
- ③ 総務や各係を中心に，一人ひとりが意欲的に取り組み，自分たちの力で行事を作り上げる成就感と充実感を味わう。(自主自立)
- ④ 規律ある生活体験の中で，班活動や集団生活を通して，学年や学級の仲間との交流と連帯感を深める。(連帯感)
- ⑤ 互いに認め合い，信頼しあえる学年学級の基盤を作る。(学年のまとめ)

★平成13年度確認事項：3泊4日，ここ数年は同じ場所で開催し，校内蓄積を積む。

## I 宿泊行事検討委員会経過報告

平成13年度末教官会議で示された新教育課程検討委員会からのまとめを受けて、平成14年度宿泊行事検討委員会（以下委員会と記す）は発足した。以下が委員会の検討事項である。

### 今年度検討事項

- ① 場所（宿泊施設）  
→宿泊先を限定するかどうか、再確認。（11月に検討項目として加わる。）
- ② 実施内容の例（含む、必修部分を設けるかどうか。）
- ③ 実施時期
- ④ 次回の見直し時期

●平成14・15年度は移行期間。

### 1. 委員会活動の流れ

- ① 第1回委員会 4月16日  
委員会の検討事項の確認，1年間の流れ確認，次回委員会までの各自の課題確認
- ② 第2回委員会 4月22日  
昨年度新教育課程検討委員会の検討内容を確認  
昭和63年度修学旅行検討委員会の活動内容を確認
- ③ アンケートその1（場所・内容・時期等に関して）実施 5月末〆切
- ④ 第3回委員会 6月26日  
アンケート結果を受けて，おおよその実施場所の絞り込み
- ⑤ 7月始教官会議 7月9日  
アンケート報告，委員会中間報告
- ⑥ 第4回委員会 7月16日  
8月下見場所・担当の検討
- ⑦ 7月末教官会議 7月26日  
実施場所候補の確認（8月下見場所の確認）
- ⑧ 8月1次調査出張 4人  
信州八ヶ岳周辺・河口湖（栗原・佐々木）  
那須甲子周辺（前川・宮本）
- ⑨ アンケートその2（7月佐藤学年移動教室に関して）実施
- ⑩ 第5回委員会 9月13日  
8月調査出張報告，会議提案（実施場所）の検討

- ⑪ 9月教官会議 9月24日  
8月調査出張報告, アンケートその2報告, 実施場所の決定
- ⑫ アンケートその3 (見直し時期等) 実施
- ⑬ 第6回委員会 11月11日  
アンケート3結果の検討, 会議提案 (実施時期・次回見直し) の検討
- ⑭ 11月2次調査出張 11月19・20日 那須・白河方面 (宮本・栗原)
- ⑮ 第7回委員会 1月8日  
2次調査出張報告, 会議提案 (実施時期・次回見直し) の確認
- ⑯ 第8回委員会  
委員会のまとめ, 会議提案の決定
- ⑰ 2月教官会議  
2次調査出張報告, 実施時期・次回見直しの決定, 活動内容例の提示

2. 委員会調査・検討内容

(1) 附属小学校・高校の宿泊行事实施状況

	小4	小5	小6
現中3	下記の通り	河口湖等	下記の通り
現中2	下記の通り	下記の通り	下記の通り
現中1	下記の通り	下記の通り	下記の通り
お茶の水附属 小学校 高校の, 最近の 傾向	お茶小4年	お茶小5年	お茶小6年
	9月 2泊 「北軽井沢 (鹿沢)」 湯ノ丸登山 国民休暇村	9月 2泊 「妙高」 ひうち登山 (選択) 国民休暇村 3月 雪の学校	9月 3泊 「裏磐梯」(裏磐梯登山 数年無し猫魔岳登山) 国民休暇村 3月 雪の学校 (海)
	お茶高1年	お茶高2年	お茶高3年
	5月 2泊 「日光」 ハイキング	4 or 5月 1泊 「車山」や「河口湖」 「那須」	4月 4泊 「沖縄・九州」 (今後変更の可能性有 りとのこと)

(2) 委員会から提示の候補地について、交通機関等の参考表 〈那須・日光・志賀〉

場所	交通機関・時間	コメント
那須	バス 2.5～3時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>○比較的短時間で行ける。</li> <li>○自然にふれることができる。</li> <li>○目的にあった宿泊設備がある。(休暇村那須南館2～4階貸し切り可) キャンプ場・炊事場有り</li> <li>○近くの黒羽町(城下町)では、班別行動も可能。</li> <li>○登山：茶臼→南月山→白笹山→沼原湿原</li> <li>○ハイキング：自然散策コース・</li> <li>○体験学習：酪農の体験館(観光地化されていず、酪農の実際にふれることが可能)</li> </ul>
那須 甲子	バス 3時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>○比較的短時間で行ける。</li> <li>○自然にふれることができる。</li> <li>○目的にあった宿泊設備がある。 キャンプ場・炊事場有り 那須甲子少年自然の家7/17～20の空き150人 (2001年5月半)</li> <li>○登山選択コース：赤面(ハード) 赤面縦走(バリエーションいろいろ) 茶臼(わりと楽)</li> <li>○体験活動：農業(レタス定植収穫) 林業(下草刈り・丸太切り), 協力は県職員・森林組合</li> </ul>
日光	電車 2.5～3時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>○浅草から電車で1本</li> <li>○自然・歴史等にふれることができる。</li> <li>○登山・ハイキングができる。</li> <li>○宿泊設備・プランなどが豊富。</li> <li>×高1で日光に行く。</li> </ul>
志賀	電車バス 3.5～4時間 バス 3.5～4時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>○今までの蓄積データがある。</li> <li>○自然・文学等ふれることができる。</li> <li>○登山・ハイキング・体験学習・自然を守るための学習・ボランティア活動等, 展開しやすい。</li> <li>○お茶小・高の宿泊行事場所と, かぶらない。</li> <li>×雨天時の活動のバリエーションが少ない。</li> <li>×往復に時間がかかる。</li> </ul>

(3) 実施場所候補についてのアンケート(アンケートその1)結果

委員会提示候補地に関して(5賛成～1反対)

那須 3.9/5 無難

日光 3.2/5 他附属校が実施

志賀 2.9/5 今までの蓄積があるが、往復に時間がかかる

以下に詳しいアンケート結果を示す。

1. 候補地に関して委員会が提示した以外の候補地を挙げてください。またその理由を付記してください。

○巻機山，八海山，湯沢・魚沼地方

巻機は群馬と新潟の境，日光国立公園の北西端にあり，1967mで，健脚コースになりますが，関東側から登ると頂上に日本海が見えます。感動的でした。近くには十日町，六日町，魚沼等地場産業でも有名な町があります。このあたりをベースにできるかどうか(宿舎があるかどうか)。文学的な面の開発が必要かもしれません。尾瀬ヶ原あたりまで足をのばすことも可能か。

○河口湖周辺または富士山麓

距離(時間)的にも適当と思われそうですが，施設のにもあるのではないかと思います。緑の休暇村等でしょうか。静岡側にあるかも知れません。

○八ヶ丘や富士山方面で体験活動，歴史，地形学を学べる場所がないか？

○蓼科山周辺 登山中心で志賀と同じレベルの内容ができると思います。

○うんと遠くの山形，秋田・青森

○尾瀬のそばで宿泊して尾瀬まで歩くような感じ。白神山地を見られるあたり自然に関して話題になるもの「本物」を見聞き，体験ができる。

2. 委員会が提示した候補地に関して，賛成・反対，コメントをお願いします。

①那須 5…5名 4…9名 3…2名 2…0名 1…1名

○野外活動(酪農体験・飯ごう炊きさんなど)を含めた体験的活動ができ，とてもよい。(3名)

○現2年生が行ってきた後の意見も伺いたい。(4名)

○とりあえず志賀以外を試してみる意味で。

○登山としては茶臼でしょうか。

那須にするなら，白河や黒羽などの奥の細道関連の学習もくめます。

○高2で行くこともあったりする。もし行くなればバスだけでなく新幹線を利用する方向でお願いします。

○自然と歴史(黒羽町)を中心として

②日光 5…2名 4…4名 3…7名 2…0名 1…2名

○とりあえず志賀以外を試してみる意味で。

○登山としては白根，男体，女峰……でもけっこうきついでしょか。

この良さは，自然，歴史，文化の各方面でいろいろな学習を展開しやすいことだと思います。

○高校と重なる(3名)，小学校と重なる可能性(3名)

○自然や歴史関係で総合との絡みが行いやすいかもしれません(2名)

○湯ノ湖あたりは？

○志賀・那須に比べると普通。

○わざわざ日光に行くのなら，もっと他にもあるのではないか。

③志賀 5…3名 4…6名 3…5名 2…1名 1…2名

○候補地をとということで，個人的には志賀高原に戻しても良いと思っています。

- 志賀高原は今までの蓄積もあり色々な活動が可能です。距離があるのは事実ですが、蓄積されたものを生かしていく上でもう一度志賀高原に宿泊先を戻すことも考えられるのではないのでしょうか。
- また、今回3年生を担当しこの完全週5日制の中で体育大会・修学旅行を行ってきましたが、正直な感想は「蓄積を生かし新しいことを盛り込まなければできなくはない」です。数年間は宿泊行事を3年間で1度と決めましたが、学校が二期制になり、教育実習の期間が3週間になって落ち着きだしたら、もう一度宿泊行事復活もあり得ると考えてみてはどうでしょうか。
- また、志賀高原を冬(春休みを含む)でスキー教室を行う。という案も考えられるのかとも思っています。1年の夏 夏の志賀高原, 2年の冬 冬の志賀高原, 3年生は最高学年として体育大会に専念。季節を変えて志賀高原に行くことで、また違った総合的な学習にも取り組めそうな気がします。
- 今までの経験(蓄積)がある。(4名)
- 体験的活動がしづらい。(2名)
- 社会・文化系の側面が少ない(2名)。
- 自然に期待できる部分が減ってきているので、いろいろな施設を使って今までと違った活動をするこも考えられるかもしれない。
- 同一箇所に宿泊がよい。(2名)
- 往復に時間がかかる。(3名)
- 雨天時の活動のバリエーションが少ない。

### 3. その他(委員会の方向性等に、ご意見ください)

- 柱の文言の中には、直接「文化面」にふれる言葉はありません。しかし、フィールドワークの中で自然・文化両面に視野を持って検討をしてほしいと思います。それは、「新しい行事」として育てていく上で、いろいろな展開の可能性を広げることになると思うからです。次に、本校の宿泊行事ですが、現在の3年間に1度はしばらく続ける必要がありますが、見直しも考えたいと思います。現状の形態でも「○○修学旅行」(例「志賀高原修学旅行」「那須修学旅行」)と銘打つことは可能かと思います。また、5日制が定着した段階で、再検討の必要があると思います。
- 総合学習を考えてプログラムを立てると、どんなところがよいか?また、その場所の特性をどのように生かすかですね。
- 宿泊行事の具体的な目的(目標)に沿って場所を決めるのがよいと思います。
- 総合学習は自然愛護や自主自律に比して少なめにしておいた方がよいと思います。
- 4泊5日にして「那須&日光」というのは?
- どこの地に決まるかも、はじめにその地の「売り」を認識するかによると思います。
- 今年度2年生が那須に行った成果を教えてください。

### (4) 1次調査出張場所についての委員会検討

アンケート結果を受けて、河口湖・富士山周辺と那須(甲子)の2カ所を1次調査出張場所とした。(7/26の教官会議で承認された。)

- ① 上越（巻機・八海等湯沢魚沼地方）に関して →往復に時間がかかる
- ② 山形・秋田・青森に関して →往復に時間がかかる
- ③ 日光 →他附属校が実施
- ④ 志賀 →情報収集
- ⑤ 河口湖・富士山周辺 →1次調査出張

多少、観光客が多い場所であるが、自然がある。今回医療機関・宿泊諸設備・博物館・美術館等を現地で調査

- ⑥ 那須（甲子） →1次調査出張

過去3年間、選択授業「体育」で利用しているのでお茶中としていくらかの蓄積がある。今年度実施する国民休暇村を利用しての那須に加え、少年自然の家を中心に那須甲子を現地で調査することで、那須の資料が蓄積でき、宿泊場所等の比較検討ができる。

#### (5) 1次調査出張報告

【2002 8 / 5～7 調査出張八ヶ岳・河口湖】 佐々木善子・栗原恵美子

〈調査概要〉

- ① 茅野市役場・麦草峠・麦草峠～ピラタスロープウエイ山頂駅（巻道ハイク）・ピラタスロープウエイ・白樺湖・西白樺湖観光案内所・亀屋ホテル・八子ヶ峰ホテル

1日目宿泊先：白樺湖パイプのけむり

移動手段：諏訪路線バス

- ② 八島ビジターセンター・八島湿原・霧ヶ峰高原・霧ヶ峰自然保護センター

2日目宿泊先：甲府ターミナルホテル

移動手段：諏訪路線バス

- ③ 河口湖村役場・富士ビジターセンター・河口湖自然生活センター・大石紬伝統工芸館・河口湖ハーブ館

移動手段：レンタサイクル

〈八ヶ岳・白樺湖方面〉

- ① 茅野市役場（諏訪市観光課，教育課）

登山道は割と整備されているとのこと。地元の学校では茅野市尖石縄文考古館横にある少年の家等を宿泊施設として利用している。各種パンフレットをもらう。

- ② 麦草峠・麦草峠～ピラタスロープウエイ山頂駅（巻道ハイク）

麦草峠にはヒュッテがあり、併設された小さな植物園がある。そばには公営パーキングがあり大型バスが駐車可能。麦草峠は比較的高地にあるので、中学校の登山のアプローチとして適していると思う。ピラタスロープウエイ山頂駅までの巻道は単調で余り展望が無く、悪くはないが面白味にかける。亀屋ホテルの支配人のお話によると茶臼岳の展望台は眺めがとてもすばらしいそうである。

- ③ ピラタス蓼科ロープウエイ（営業企画部長）

楽に高度を稼げるので、入門登山のアプローチとして適している。（はじめて登山する人が、登山を好きにな

る。) 登山のバリエーションも豊富である。体験学習的なものは「八子ヶ峰ホテル」が詳しいとのこと。

④ 白樺湖・西白樺湖観光案内所

東側は観光地として賑やかな所。土産物屋があり、ボート等湖で楽しめる。観光案内所で学校受け入れホテル(白樺湖プリンスホテル・亀屋ホテル・八子ヶ峰ホテル等)を聞く。

⑤ 亀屋ホテル・八子ヶ峰ホテル(支配人)

2つは姉妹ホテルとのこと。体験学習先として、バスで45分ぐらいの所の武石村の紹介を受ける。『信州せいしゅん村』日帰り農村体験(www.murada.com)は総合学習的扱いも可能。学校受け入れに慣れているようで、班長会等集会を行う部屋や飯盒炊さんの施設は充実している。1泊およそ7500~8000円位亀屋ホテルは多少古めであるが立派な体育館があり、支配人は話題豊富な方である。

八子ヶ峰ホテルは湖畔より車で5分ほど上がったところ。立地条件がよい。(そばにホテル・土産物屋等ほとんどないため静か・夕陽や星空がきれいに見える。)

<八島湿原・霧ヶ峰高原方面>

① 八島ビジターセンターあざみ館

新しくはなく小さい建物だが、充実している。班単位で訪れるのに良さそう。見上げる鷲ヶ峰1798mまで往復2時間弱。

② 八島湿原

ほとんどずっと木道歩きで、単調だが散策として無難である。思ったほど干上がった感はなく、豊富に植物があり、広々としたイメージを受けた。一時より湿原の手入れがよいと思われる。車山から入って蝶々深山・物見岩を経て来るコースも単調であるが天候が良ければ眺めも良く、無難。

③ 霧ヶ峰高原・霧ヶ峰自然保護センター

高原は広々としており、天気が良ければ八ヶ岳が北から南まで見え、富士山や南・中央・北アルプスまで眺めることができ、すばらしい。自然保護センターは新しくはない建物だが、クラス単位で訪れても広さ・展示物の面で可能。60人ぐらい入る部屋があり、事前に申し込みれば学習会が設定できる。

<河口湖方面>

① 河口湖町役場(観光協会事務局)

河口湖周辺のホテルのパンフレットを多数もらう。(学校は1泊8500円位であろうとのこと。学校を受け入れていない所も数カ所ある。)今回下見していないが、河口湖フィールドセンター・環境科学研究室・三つ峠登山のコース(ロッククライミングゲレンデだが良い登山コース)の紹介を受ける。

② 富士ビジターセンター

大変新しく大きな建物(平成10年に定礎)ハイテクなイメージである。富士山についての勉強ができる。

③ 河口湖自然生活センター

きれいで小さく家庭的な建物。1度に48人がジャム作りを体験できる。土産物屋のイメージ。

④ 大石紬伝統工芸館

小さく、古い民家のイメージで、機織り機など展示物がある。染め物等体験できるようだ。



⑤ 河口湖ハーブ館

ドライフラワーを使って室内装飾品等作る体験ができる。土産物屋のイメージ。

〈感想〉

○八ヶ岳は登山コースのバリエーションが多くとれ、山の醍醐味が味わえる。

○霧ヶ峰は天候が良ければ展望抜群だが、その名の通り天候面では不安。

○八島湿原では植物観察や鳥の鳴き声を聞くなど豊かな自然に触れることが出来る。

○白樺湖の亀屋ホテルは、手作りで体験学習ノートや案内CDを作成するなどかなり営業面で力を入れている  
感じを受けた。

○八子ヶ峰ホテルは施設がきれい、立地条件が大変良い。亀屋ホテルと同様、体験学習の種類が豊富。

○武石村の農業体験受け入れに関しては興味があり、もう少し調べてみたいと思う。一日一人あたり3000円費用がかかるが…それに見合うものか。

○受け入れ施設の空きを見ての実施時期の検討が必要か？あくまでも実施時期単独で検討すべきか？慎重に進めたい。

○河口湖は、登山コースのバリエーションは少なく、高度が稼げず、魅力的ではない。

○河口湖周辺は、比較的一般客やスポーツ団体関係の宿泊者が多いようである。

〈その後の情報〉

① 石田先生による「文京区立八ヶ岳高原学園」調査から

② 栗原による河口湖その2

●環境庁 生物多様性センター

保護を必要とする生物等に関して学べる。展示物は新しくきれいで見やすい。大きくない建物なので、班単位で訪れると良い。静かな場所にあり、周辺に自然散策路がある。

●山梨県立環境科学研究所

一度に20人ぐらい座って学べる図書室があり、展示物は新しくきれいで見やすい。クラス単位で訪れると良い。生物多様性センターとは自然散策路で結ばれ、歩くと5分程度である。

●河口湖フィールドセンター

紙漉や簡単な木工作品が作れる建物や、指導員に案内されて溶岩樹型等自然観察ができる。

【2002 8 / ～那須甲子】 宮本・前川

実地踏査日程 平成14年8月26日(月)～27日(火) 1泊2日

実地踏査場所 那須甲子方面

宿泊施設 独立行政法人 国立那須甲子少年自然の家

福島県西白河郡西郷村大字真船字村火 TEL 0248-36-2331

<http://www.syonen.go.jp/jpn/shisetsu/nashukasi/101.html>

主な踏査内容

1. コース別登山, 体験・環境学習プログラムなどについての職員との相談

2. 宿泊施設内（自然館・環境教育館を含む）の視察
3. 野外炊飯場、「なかまづくりの森」などの実地踏査
4. 登山コース、近隣施設等の実地踏査

実地踏査をもとに、4日間の移動教室のプランを立ててみた。

目標「あびるほどの自然体験を」

#### 第1日

- 9:00 東京駅集合
- 9:30 新幹線乗車
- 11:00 新白河到着→バスに乗車
- 12:30 昼食（場所は未定）
- 14:30 堀川ダム見学（①）  
そこから川の源流を見ながら登り自然の家へ
- 16:30 自然の家到着  
部屋の確認，自然館・環境学習棟見学（②）  
入浴・食事など（フレックス可③）
- 19:30 キビタルーム集合（④）・全体会→天体観測（営火場）
  
- 21:00 班長会・室長会・部屋会
- 22:00 総務会・就寝準備
- 22:30 就寝



#### 第2日

- 6:30 起床
- 7:00 朝の集い
- 7:20 朝食
- 8:00 登山出発  
登山コース（⑤）
- 16:00 自然の家到着  
キャンプファイヤー出し物の練習  
入浴・食事など
- 19:30 キビタルーム集合・全体会→ナイトハイク（⑥）

- 21:00 班長会・室長会・部屋会
- 22:00 総務会・就寝準備
- 22:30 就寝

第3日

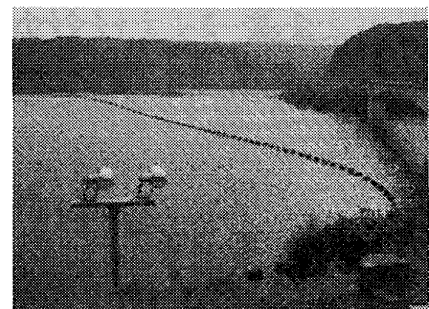
- 6:30 起床
- 7:00 朝の集い
- 7:20 朝食
- 8:00 選択Ⅰ・自然散策 (⑦)
- 11:00 飯ごう炊さん (野外炊飯場⑧)
- 14:00 選択Ⅱ・体験学習 (⑨)
  - コース例 ダルマの絵付け
  - 竹細工・わら細工
  - 林業体験
- 16:30 自然の家到着
  - 入浴・食事など
- 19:00 キビタルーム集合・全体会→キャンプファイヤー (⑩)
- 21:00 班長会・室長会・部屋会
- 22:00 総務会・就寝準備
- 22:30 就寝

第4日

- 6:30 起床
- 7:00 朝の集い
- 7:20 朝食
- 8:00 オリエンテーリング (⑪)
- 11:00 お好み昼食 (そばうち・うどんうち・もちつきから選択⑫)
- 13:30 自然の家出発
- 15:00 新白河駅発
- 16:30 東京到着・解散

① 堀川ダム

昨年できた新しいダム。ここから川の源流まで見ることができ、東京ではみられないスケールの大きさを堪能することができる。



② 自然館・環境教育棟について

那須甲子の自然についてわかる施設(博物館に近い)。初日に入浴・食事の裏プログラムで見学し、那須がどんなところかを知る。

なお、環境教育棟にある風力発電装置は故障している。

(課題を設定することも可能だが…)



③ 入浴・夕食のフレックスタイム制について

学年を一同に集め、(他者を入らさないで)食事をとることができないので、食事の時に連絡事項を伝えることが難しい。そのため、食事・入浴は部屋単位で行動することを条件に、夜のプログラムの集合時間までの間に、自由にとってよいものとした。学年全体への連絡事項は、夜プログラムの最初に行う。

④ キビタルーム

集会用の部屋。玄関ホールの横なので、夜プログラム前の集合場所に最適。

黒板、ホワイトボード、OHP、テレビ、ビデオ、マイク、いす、机などがある。

⑤ 登山コース

a 「赤面山」：入り口の確認。健脚コースとしては最適。6～8時間

b 「剣桂ハイキングコース」：4時間。自然の家から30分間のコースを確認。林の中の涼しいコース。適度な勾配。

メインの阿武隈川沿いの遊歩道について、きよろろん村側から入って確認。

大変きれいな景観で、歩きやすいが、上り下りもあり軽登山といえる。

c 「沢歩きハイキング」：堀川の冷たい流れにそって、上る(下る)4時間。

沢沿いの道だけでなく沢を左右にわたりながら道を見つけて歩くので、冒険的。沢への降り口までの道を確認。綱場があり、スリルがある。

d 「パノラマハイキング」：自然の家の周りのコース。1時間。体の具合の悪い場合などのコースとして。

⑥ ナイトハイク

ウッドチップロード→ハンディロードを通る約1kmのコース。

一つの班を2グループに分けた1/2班単位で(3～4人)行く。

⑦ 選択I・自然散策(班選択)

自然の家のエリアを利用して、色々な活動ができる。グループで半日のコースづくり可能。

林間ゲーム(グループで協力しながらクリアする7つのゲーム、壁登り、タイヤ差し等)(写真)

野外冒険ハイキング(道なき道をあらくコース。入り口に動物の名前有り)(写真)

樹木観察ハイキング（写真入りチェックカードを見ながら樹木の名前を記録したりする）

ネイチャービンゴ（いがいがしたもの、鳥の声、いいにおいのする花などののビンゴカード）

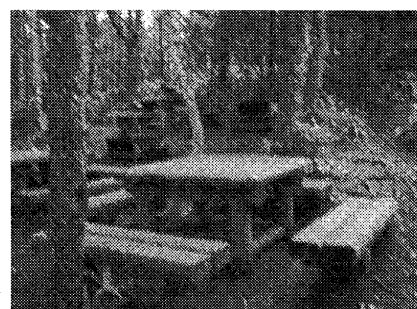
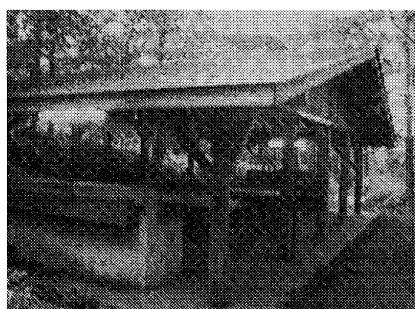
自然を感じる（音を聞く、みる、のんびり浸る）スケッチ、俳句、木の皮の模様のこすりだし

土壌観察・水質検査



### ⑧ 野外炊飯場

こんなところです。(写真参照) メニューはカレーライス、山菜炊き込みご飯、お好み焼きなどから選択。軍手・食器洗いス



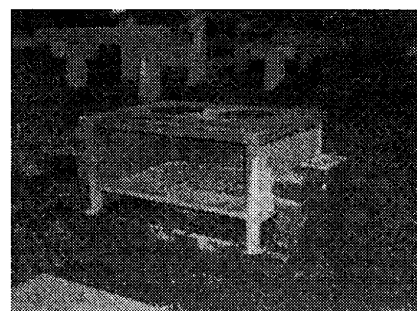
ポンジ、焚き付け用新聞紙、マッチ、ふきん、無リン系洗剤はこちらで用意する必要あり。

### ⑨ 選択II・体験学習（個人選択）

選択Iでは屋外での自然散策を中心としたものだが、選択IIでは、林業の体験や工芸品づくりなどにチャレンジする。

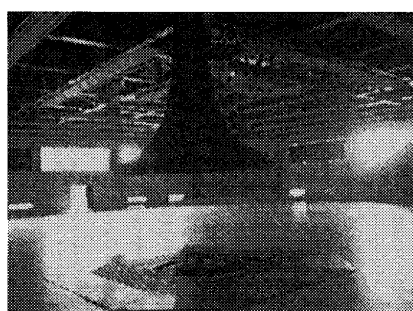
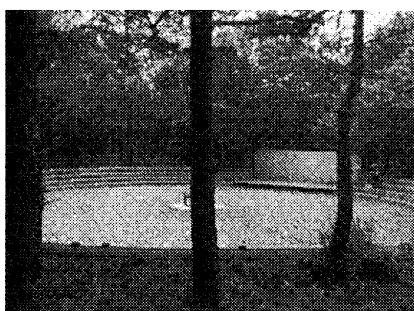
コース例

- A) 林業体験活動…丸太切り体験、植林、下草刈りなど
- B) だるまの絵付け
- C) 竹細工…竹とんぼ、目かご、鳥笛、ミニ門松など
- D) わら細工…わらぞうり、わらじ、わら亀



### ⑩ キャンプファイヤー

雨天の場合屋内でできる場所あり。屋外含めて打ち上げ花火不可。



⑪ オリエンテーリング

自然の家の周りのフィールドで、簡単にも、ハードにも設定できるコース。時間も、1時間～2時間自由に設定可能。

スコアOL：時間内にできるだけ多くのポストを見つける。一番遠いところは、50点。

班を1/2程度に分割する。スタートを3段階くらいにすると良さそうである。

⑫ お好み昼食

そば打ち、うどん打ち、餅つきを体験した上で食べる。

その他

※ゴミは原則持ち帰りだが、「自然の家」で処理する場合は指定のゴミ袋を購入する。

そこから、東京のゴミ処理場問題と絡めてなるべくゴミの体積を減らすことの必要性をとらえさせるという環境教育もできる。

※宿舎そのものについての詳細は「利用の手引き」を参照。

※登山コース、自然散策コース、飯ごう炊さんメニュー、体験学習、お好み昼食…と、生徒の選択するものが多くある。各班の希望の調査・調整などは総務または係の生徒に任せたい。

※自然の家のコンセプトとして、参加団体や子供たちの主体性を大切にすることを感じられる。

奉仕活動なども、団体の方で考えて提案すれば相談に乗ってくれそうである。

※事前の学習テーマを「自然との共生」として展開できそうである。

(6) 今年度的那須（国民休暇村）実施後の引率教官アンケート（アンケートその2）結果

対象：平成14年度林間学校引率者、以下に詳しいアンケート結果を示す。

1. 活動メニューに関して

① 酪農体験学習

良い 5 普通 2 良くない 0

○受け入れ側のスタッフがもう少し多いか、生徒を半分ずつにするか。

○生き物と食の関連で体験の意義は大きい。また時間もゆっくりとりたい。

△プログラム開発中ですね

② 山登り

良い 5 普通 1 良くない 0（保留1）

○一斉にという考えもいいが、全体でまったりする時間のロスを考えると、いくつかのコースを設けるといいと思う。

○体力別コースを作らないのなら、今回のように途中で下山させるのがよいと思った。

△コース別も可ではないか。

③ 自然散策路

良い 3 普通 0 良くない 0 (保留4) ※雨天のため実施できず

○山の植物などをじっくり観察することは、理科の学習だけではなく、とても大切な体験だと思う。

\*自然が豊かでよさそうだと思います。

④ 飯ごう炊さん

良い 4 普通 2 良くない 0 (保留1)

○班活動としては全員が関われるという意味でとても有意義。メニューは少し要検討。

○ただ、メニューなど準備が大変だったようだ。

△宿泊行事でなく、日帰りで行うとよい。

△今回はメニューが複雑すぎて、材料の準備にエネルギーを取られすぎた。そして火の起こし方や片づけの事前の指導が不十分だった。メニューはもっとシンプルにして、屋外ならではの基本的なことをきちんと指導するならやってもよい。

\*時間的なことを考慮してメニューを絞り込む必要あり。

⑤ 黒羽座禅

良い 5 普通 0 良くない 0 (保留2)

○なかなかできない珍しい体験

○何とか2時間か2時間半とれるとよい。

○中学2年という時期の関連でもいいのでは？

⑥ 黒羽班別行動

良い 7 普通 0 良くない 0

○今回は時間が2時間しかなかったので本当に残念。現地の人と話ができる機会があればなお良い。

○迷ってしまった時の対応を十分に考えておく必要がある。

○観光ずれしていない良さはある。

⑦ その他、考えられる活動メニューについて

\*酪農以外の農業体験

\*川を使つてのプログラム(水質調査、創造活動、ストーンクロッキー)

\*宿泊場所を2泊と1泊に分けるといふのもあり

2. 那須エリアに関して

① 移動時間(距離) 近い 6 普通 1 遠い 0

○これはとても大きいと思う。涼しさという点では今ひとつかな？

② 目的と照らし合わせて

\*山登りのコースなど、検討課題もあるが、①～⑤の目的をうまく活動に行かせる場所だと思います。

\*教科クロスの開発は必要ですね。

\*適度に都会と離れていて自然を体験できる利点はある。

\* 自然に恵まれ、学校では体験できないことを学べる場としてよいと思いました。

\* 生徒の体験活動に重きをおいたものと考えれば絶好の場所である。

### 3. 今後の実施時期に関して

早め 0    今回と同じ 5    遅め 2 (梅雨明け10日以内, 秋)

### 4. 宿泊施設に関して

#### ① 安全面

良い7    ○花巻などの観光地に比べると大分安全。

#### ② 集会場

良い2    ○担当者の方がとても配慮くださった。

普通5    △もう少し大きい会場があればもっと良かった。

△学年全員が集まり、活動できる場所があるとよい。

△140人収容の部屋が狭い。

#### ③ 食堂 良い7

#### ④ 風呂場

良い6    ○とにかく広くてゆったり。

普通1    △広さはあるが、カランの数がもう少し多いとよい。

#### ⑤ 飯ごう炊さん場

良い7    ○屋根がある。水道とかまどがワンセット。

○しかし140人が一度に使うにはやや狭い。

○B棟はやはりせまい。メニューなどで工夫する。

○もう一つ炊事場があるとなお良い。生徒の数の割には狭い。

### 5. その他

\* 今後「那須」エリアで行うならば、那須で2泊、黒羽で1泊ということも考えられるのではないだろうか。

\* 秋から体育施設もできるそうだ！雨天も可。

### (7) 実施時期等についてのアンケート (アンケートその3)

9月に全教官対象に実施。以下に詳しいアンケート結果を示す。

#### 1. 宿泊行事の実施時期 (およその時期)

##### ① 行事などの組み立てを今と変えるとした場合

●現在と同じ (5名)

\* いろいろな活動を考えると、やはり夏の時期が適していると思います。確かに、今の時期より1週間ほど遅い方が、梅雨などもさけられていいかも知れません。でも、宿泊場所を確保するということや、夏



休みの他の活動を考えると、今の時期がいいのではないのでしょうか。2学期制になり、成績処理などもなければ、宿泊行事の前の時間ももっと有効に使えるというのも理由としてあります。ただ、3年間に一度の宿泊行事が、2年生のあの時期というのはやはり早いですし、3年生になる前にもう一度くらい、宿泊を伴わない1日の活動があってもいいかとも思います。

\*教育実習の6週間を取られるので、行事の組み立ての自由度はほとんどない。したがって、予定期日を変えることが困難であり、その期日に宿泊施設を予約できるようにするには、現在の1学期の終業式の前後（前）がいちばん良いように思われる。問題は雨天が続くことが考えられる期間であり、それに対応できる施設をもった宿泊所がとれるかどうかであると思う。

\*この時期は他校と重ならないので。

\*6月下旬～9月下旬まで教育実習、冬は自然観察などあまり行えない。

現在の時期は自然をもっとも豊かに観察できる時期である。

●7月梅雨明け頃・9月

雨は避けたい。

●2年の秋か3学期

修学旅行的な内容を含める。

3学期であれば準備の時間が確保できそう。

●わからない 2年の冬？

行事の組み立てがどのように変わるかイメージできないため、判断できません。変更案を聞き落としたり見落とししたりしていたらごめんなさい。前・後期制に変わってからの年間行事案全体で考えてみないとわかりません。

② 行事などの組み立てが今とほぼ同じ場合

●現在と同じ（8名）

\*前・後期制になると6月末の期末テストと成績処理がなくなるので、現在よりは準備をしやすくなるのではないか。（やってみないとわからないが）

\*学校行事・学校生活の中で他の時期を考えにくい。

\*行事が終わってすぐ夏休みに入れるのがよい。

●現在と同じか8月上旬

年間の行事を大幅に変えていかないと動かすのは無理ではないでしょうか。

●7月梅雨明け頃

2. 次回の見直し時期

●3年後（7名）

\*独法化後のことを考えれば、行事を含めて、魅力ある学校づくりのためより一層様々な取り組みをしていかなければならない。修学旅行についても復活も含めもう一度検討する価値はある。

\* 今回の検討は、時期は同じで場所だけの変更だと思っていた。時期も変えるとなると、平成15年度に前・後期制をとり入れたところで検討することになるだろう。平成16年度に独立行政法人化して3年ほどたって少し落ち着いたところで、見直すとよいと思う。

\* 那須についてのいろいろな先生方の意見を、早いうちに一度確かめた方がよいと考えます。また、2学期制になって4年目ということなので、いろいろな行事配分についてのめども立つ時期かと思えます。

● 5年後(2名)

よりよい内容にするにはそれなりの回数を要する。

● 必要があればすぐにでも

独法化にむけ、修学旅行のような宿泊行事と併せて、必要に応じて検討すべき。

3. 実施内容に関して(自由記述)

\* 総合学習(教科クロス)に位置づけるのであれば、共通項目を設ける必要がある。

\* 現在の段階では時期や場所などの関係で自然教室・移動教室的な(登山・キャンプファイヤーなど)内容に偏ってしまう。(偏っても良いとは思いますが…)修学旅行的な要素も入れたいと思うのですが、どのように考えていくかなど残念ですがしっかりとした考えはありません。

\* 宿泊行事の目的について、「自然」「総合学習との絡み」「集団行動」などの点で、いろいろな先生がこれはいいいという活動をもっともっと出し合えるといいと思います。

\* 学年ごとに柔軟に選択できるとよい。

\* 3泊4日なのであんまりがんばってもよいと思う。

\* 14年度からの5年間実施していく中で、教科クロスの総合学習の内容が明確になっていくようにしたい。

\* 那須自然の家の実踏内容でほぼ良いと思う。前行事検討委員会では、なくした内容について盛り込まない、とあります。体験学習や修学旅行的な内容は、前回の確認では入れないと決めていたと思います。

4. その他(例・11月の調査出張で見えてほしい内容、11月の提案内容や形式についてなど)

\* 総合学習(教科クロス)の対象とできる場所を教科ごとになるべく多くあげて欲しい。

\* 各校(日本全国)の修学旅行の現状や新しい動きなどが分かれば教えてください。

\* 医療機関へのアクセス

\* 「那須少年自然の家」は、かつて中央研修で使ったことがあります。樹木観察ハイキング、わら細工体験をしました。わら細工は現地の人が複数いらして丁寧に教えていただきました。竹細工も同じです。登山をしたグループもあり、なかなかハードだったようです。色々メニューがあって選択の幅があつてよかったです。

\* 4日間の組み立ての具体例をいくつか挙げてもらえるとありがたい(あくまでも例として)例:休暇村利用の場合、甲子の場合、那須2泊、黒羽1泊の場合など。

\* 日程調整の仕方、7/17~20の過去の利用状況、班別行動の可能性。

☆“精選”された修学旅行の扱いについて、平成12年度行事検討委員会の提案により、宿泊行事が1回になり、その行事には修学旅行的な内容は含めないと承認されたはずだが、今回のアンケートでは修学旅行的な内容も含めたい、あるいは修学旅行自体の復活をにおわせるという意見も多かった。この件に関して、議論を蒸し返してまで、再検討するほどの必要性（独法化などの社会情勢の変化）があるか。共通理解することを含めて、委員会で取り上げる必要がある。

## II 地域設定と実施時期等に関して

### 1. 会議で承認された委員会提案内容

提案1：場所は、那須エリアとする。宿泊場所に関しては確定しない。

- 理由：① 今年度実施した那須は目的を満たし、エリアとして充分適していると判断。
- ② 那須は中学から2時間半で着くことができ、従来の志賀と比べ1日目と最終日が有効に使える。
  - ③ 今年度の蓄積がある。
  - ④ ハヶ岳は中央高速道を利用すると東北道より渋滞しやすく、これから開拓して行く部分が多いので避けたい。
  - ⑤ 河口湖・富士山周辺は、適当な山が少なく、宿泊施設も学校受け入れが認められないホルも多く、河口湖周辺の訪れる施設も観光的側面が強いので避けたい。
  - ⑥ 志賀はアプローチが他に比べると長いので、避けたい。

提案1（宿泊場所は決めない）に関する確認・補足

H.16年度開設予定の「県立 仮称 自然の家」（那須国民休暇村近く）等、まだ宿泊場所として検討の余地が有ろう。

「国立那須甲子少年自然の家」の申し込みの流れは、①前年度の6月から8月31日に利用希望書の提出 ②実施6ヶ月前に利用申込書の提出、それを受けて利用申込書 受理の連絡。小泉学年の場合、来年度使用希望を問い合わせたのが、今年度の7月頃。最終的に11月に書類が送付されH.15年7/16～7/19実施が決定。例年は7/17～7/20頃、空いていることが多いとのこと。利用実績を積んでいけば一段階早く調整をしてもらえる  
by 宮本

活動のプログラムによっては、一泊は別の場所で泊まる展開も可能であろう。

毎年同じ宿泊場所を実施することは学年の負担が少し軽減される。委員会としてはいづれ宿泊場所を絞る方向が望ましいと考える。

提案2：那須の中で、訪れる場所の必修部分は設けない。

理由：修学旅行ではこの施設でこの学習、と限定が教科サイド等から入ってきたが、目的を達成する視点で、エリアの中で学年裁量があってよいと考える。委員会として、幾つかの例を提示する。

## 2. 教官アンケート（9月実施）の集計結果を受け委員会で検討した内容

ア、総合学習の対象とできる場所のリスト

→○委員会としてできるだけ多く情報提供（参照下記5，6，プログラム）をするが今後4年間で蓄積していく。

イ、各校の修学旅行の現状と新しい動き

→○多くの学校が修学旅行は実施。地方によっては総合に旅行をカウントするところもある。（東京では×という情報もあり）

参考 <http://www.shugakuryoko.com/>

ウ、いろいろな先生が「自然」「総合学習との絡み」「集団活動」の視点でこれはいいという活動を出し合う。

→○i-office を利用して。

エ、その他

○今回の黒羽は1ページに示した、目的の④や②を意識して実施。修学旅行の目的を今回入れ込んだつもりはない。

○3年後、魅力あるお茶中づくりを考えて、修学旅行を入れるかどうかも含めて検討。（i-office を利用して自由討論）

○11月の下見で、登山等コース、医療機関（病院）、総合学習的視点（その他活動一般、班別活動）に関して調査

## 3. 教官アンケート（9月実施）の集計結果を受けての提案

提案3：宿泊行事の実施時期 → およそ現在と同じ

提案4：次回の見直し時期 → 3年後（18年度～検討を始める）

14・15年度移行、16～18年度実施、

\* 2期制実施、3年次修学旅行の中止など

### III コース設定とその内容に関して

#### 1. 登山・散策コース案（コース別・一斉登山）

(1) H.14年度（佐藤学年）の下見コースとその結果等 2学年主任佐藤先生より

- ① 駐車場→那須ロープウェイ→牛ヶ首→日の出平→南月山→白笹山→  
（一部登山道未整備，山腹斜面を横切る道 が笹で滑りやすく，落ちると危険）→  
沼原湿原  
★整備が十分されていれば大きな問題はないが，全体登山コースとしては，今回不適  
と判断した。
- ② 駐車場→峰の茶屋跡小屋→剣ガ峰→（鎖場等危険箇所有り）→朝日岳  
★全体登山コースとしては不適
- ③ 那須の山はガスが出たりすると大変危険な面がある。一昨年，また最近も死亡事故が  
起きている。

(2) H.14年度（佐藤学年）実施

駐車場→峰の茶屋跡小屋→牛ヶ首→南月山→牛ヶ首→姥が平（昼食）→三斗小屋分岐  
→沼原湿原→沼原駐車場

(3) コース別登山・散策モデルの例

- ① 南那須縦走  
峰の茶屋→30→茶臼頂上→20→牛ヶ首→45→南月山→60→黒尾屋→60→有料道路  
（3時間35分・健脚向き）
- ② 塩原自然研究路  
奥塩原温泉→50→富士山→20→道路→20→大沼沼尻→90→塩釜温泉  
（3時間一般向き）
- ③ 塩原連山縦走  
鶏頂山荘入り口→20→枯れ木沼→30→弁天沼→50→鶏頂山→90～120  
→明神岳→50→林道（4時間～4時間30分・健脚向き）
- ④ 「赤面山」：健脚コースとしては最適。6～8時間。早朝出た方がよい。
- ⑤ 「剣桂ハイキングコース」：4時間。自然の家から30分間分のコース確認。林の中の涼  
しいコース。適度な勾配。メインの阿武隈川沿いの遊歩道は，入り口から確認。大変  
きれいな景観で，歩きやすいが上り下りもあり軽登山といえる。
- ⑥ 「沢歩きハイキング」：堀川の冷たい流れにそって，上る（下る）4時間。  
沢沿いの道だけでなく沢を左右にわたりながら道を見つけて歩くので，冒険的。  
沢への降り口までの道を確認。綱場があり，スリルがある。

- ⑦ 「パノラマハイキング」：自然の家の周りのコース  
1時間。体の具合の悪い場合などのコース。

## 2. プログラム例

### (1) H.14年度(佐藤学年)実施プログラム(一部天候の都合で中止)

- ① 牧場体験 : Try Try Try (レクチャー・牛の世話・ソーセージやバター作り等)  
② 学習・班別行動 : 自然研究路(登山ではない自然を意識, 手作りテキスト持参でOL)  
③ 炊飯生産活動 : 飯ごう炊さん  
④ 学年のまとめ : キャンプファイヤー  
⑤ 連帯感 : 黒羽町行動(寺巡り等の班別行動, 座禅)

### (2) 那須甲子少年の家活動プログラム

- ① 登山・ハイキング・オリエンテーリング  
: 甲子山登山・赤面山登山・西の郷ハイキング・<sup>けんかつら</sup>剣桂ハイキング・沢歩きハイキング・  
奥甲子ハイキング・<sup>ほっかわ</sup>堀川ダムハイキング  
② 炊飯生産活動  
: 野外炊飯・もちつき・そばうどん打ち・青竹ご飯・イワナつかみ料理等  
③ 創作活動  
: 知恵の輪作り・竹細工・白河だるま絵付け・紙漉・ロープワーク・リース作り等  
④ ゲーム的活動  
: キャンプファイヤー・キャンドルファイヤー・林間ゲーム等  
⑤ 自然観察  
: 水源を探る・バードウォッチング・星の観察・樹木観察・地質・地形観察等  
⑥ 奉仕的活動  
: 自然の家周辺の環境整備等  
⑦ 環境学習  
: 風力・太陽発電のしくみ・水の学習 等

### (3) 那須周辺で考えられるプログラム(11月の下見から。下見に関する別紙回覧参照)

- ① 白河市および周辺での展開プログラム  
白河市街班別行動 : 市街班別散策(端から端まで徒歩約1時間, 城下町)  
体験学習(だるま工場にて, だるまの絵付け等)も可。昼食は各班で外食。現在,  
埼玉の中学校が毎年実施。  
白河関の森公園 : そば打ちなどゆったり空間で体験可能。市立。(バス移動)  
まほろん : 県立資料博物館。新しく見やすく工夫された展示。(バス移動)

南湖公園なんこ：天気がよいときの昼食場所（バス移動）

★白河市教育委員会から何名かが派遣され、ここ数年お茶中で研修。市の職員はじめ多くの人が登録する人材バンクが白河市役所にあり、目的やプログラムがはっきりしたら相談に応じるとのこと。

② 甲子少年自然の家がある西郷村での展開プログラム

水質検査等（20名で数時間のプログラムがある）

お茶の水附属小学校帰国学級と西郷村の川谷小学校とが交流している。

（平成6年度～、6月は東京で、9月は川谷で。川谷では、椎茸やジャガイモ収穫料理・水源地ハイキング・乳搾り・虫取り・わら細工等）

★西郷村生涯学習課で相談可

cf ★那須町役場水道課職員が那須山岳会会長、町役場に登山ガイド人材バンク有り

③ 西那須野町での展開プログラム

疎水事業跡見学「水」をテーマに発展学習可能か（小学生など）。

仮称：那須野が原博物館がH.16年度開設予定

④ 那須塩原展開プログラム

箒川沿い散策路→ビジターセンターでの学習

★県の自然ガイド 平山 政昭

塩原自然研究路（前述）

塩原連山縦走（前述）

### 3. プログラムに関して

#### (1) 開拓可能なプログラムの視点

① 那須周辺で自然を守り地域に還元する活動を援助するボランティア活動

（ex.ゴミ拾い、ゴミからの造形、雑草取り、花植え、ペンキ塗り、植林、樹木に名札、標識打ち、自然保護団体施設の倉庫片づけ、登山道チェック、登山道整備）

② 個々が、自然の中にひたる「ゆったり、ゆとりタイム」の設定（今までやってきた俳句を作る、絵手紙を書く、の流れで、ex.花や虫を観察、河原の石で造形）

……………ある程度まとまったエリアで

ex 自然研究路、自然の家の敷地

#### (2) 総合学習との関連

① 教科クロスは志賀で行ってきたものを多少手を加え、那須でも実施可能。

② バスで移動する事を考えると、下流から源流へたどり、「水」「大自然」をテーマに総合学習も実施可能

③ 学年の総合学習のプログラムに位置づけることも可能。

#### 4. 3泊4日のモデル

1日目案, 2日目案, 3日目案, 4日目案の中から様々な組み合わせが可能であろう。

1日目	2日目	3日目	4日目
ダム見学と ダムから自 然の家へ入 所ハイキン グ	コース別登山 自然の家からバスなし ・赤面山(健脚) ・沢歩き(冒険) ・剣桂ハイキングコース(軽登山) ・パノラマハイキング(散歩) ・甲子山登山(健脚下見半) ・奥甲子ハイク(健脚下見半) バス利用 ・南月山(現2年生) ・南那須縦走 茶臼・南月山 ・塩原自然研究路(下見未) ・塩原連山縦走(下見未) ・西の郷ハイク(軽)(下見未) ・茶臼(現2年生下見)	自然観察プログラム スケッチ 水 源探索, バードウォッチング, 樹 木散策OL, 地質	白川市内 班別散策 白川ラー メン 城下町
try try try で牧場体験		創作活動 伝統品の細工	白川関の森 公園 そば打ち
自然観察プ ログラム		奉仕活動 自然の家周辺の環境整備 他	黒羽町 班別散策 (前泊して 座禅も可)
	夕方のプログラム例 ・レクリエーションの練習 ・自由行動(自然の家敷地)	環境学習 風力・太陽発電 他	オリエンテーリング 自然の家
	夜のプログラム例 ・ナイトハイク(自然の家) ・星空観察会 ・自由研修	飯ごう炊さん 班別飯ごう炊さん, 餅つき, そば うどんうち, 等も可	
		林間ゲーム(セット有) 冒険ハイク ネイチャーゲーム オリエンテーリング(コース有)	
		夜のプログラム例 ・キャンプファイヤー (室内キャンドルファイヤー)	

#### 5. 医療機関

○那須野ヶ原菅間病院	tel 0287-62-0733
○白河厚生総合病院	0248-22-2211
○田口病院	0248-24-1111
○かねこクリニック	0248-24-3111
○いわしなクリニック	0248-48-1234
○おかざきクリニック	0248-23-2551
○近藤眼科医院	0248-23-2079
○水野耳鼻咽喉科医院	0248-22-6832
○千葉医院	0248-24-2080
○山本歯科医院	0248-24-2888
○白河休日急患センター	0248-22-9676



参考資料

：体験活動事例集（平成14年10月，文科省中等教育局）

那須方面宿泊検討委員会作成ファイル（各地パンフレット，名刺，会議プリント）

○おわりに

- 馴染みの多い岩手・志賀から離れ，数年那須をエリアとして行う宿泊行事。精選の結果を受けて様々な検討を行った1年間だったが，十分に検討できたか不安は残る。今後実施してみても，那須での蓄積を積んでからの検討が大切であろう。生徒にとり何が大切か？学校現場の中で，他の教育プログラムや学校目標等鑑みながら次回の検討まで，注意深く見守っていききたい気持ちである。（栗原）
- 学校の教育カリキュラムが多様化してきて，情報化も情報活用力も高まり，学校にいても世界の情勢や地域の様子をつかむ方法も機会も増えてきたと思う。そして，教科の枠を超えて，総合的に学習し，視野を広げる事もできるようになって来た。そんな中，どうしても現地に行かなければ体験できない，自然との直接のふれあい，体験などは，ますます重要になると思われる。今回，志賀高原林間学校をベースに，自然に関する学習をメインとした行事像が浮かび上がってきたのも，意義深い事だと思える。（宮本）
- 修学旅行が無くなったことを残念がる生徒や保護者の声は多い。しかし，生徒の自治力を育成するうえで，行事の前の準備期間を十分保証することはゆずれないものがあつた。生徒や保護者に対して，なぜ修学旅行が削られたのかの理由を根気強く説明していくことが今後も必要であろう。また，それと同時に，体育大会やその他の活動に時間的な余裕をもってじっくり取り組めるようになった充足感を生徒たちに実際に味わわせることによって，この精選の意義を認識してもらうことが大切であると考えている。（佐々木）
- 長年慣れ親しんだ経験のある志賀から，新たな那須の地へ。慎重に考えることも必要だが，一度新しいものにチャレンジして，それから再検討するのも，長い目で見ると有効な方法だと思う。この程度の変更が難なくできる柔軟さがないと，独法化の波によって余儀なくされる急激な変化には，到底生き残れないだろう。（前川）